

令和6年10月4日（金）

保護者 様

和光市立下新倉小学校
校長 船越 一英

令和6年度全国及び埼玉県「学力・学習状況調査」の結果について

初秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度4、5月に実施した「全国学力・学習状況調査」及び「埼玉県学力・学習状況調査」の本校児童の結果について分析を行い、学力向上のための取組をまとめましたので、下記の通りお知らせいたします。家庭学習での目標設定などにご活用ください。

記

1 調査の目的・内容

(1) 埼玉県学力・学習状況調査〔実施日：5月10日～14日 対象学年：第4・5・6学年〕

【目的】「学習した内容がしっかりと身に付いているか」「学力がどれだけ伸びているのか」という視点で、子供たち一人一人の学びや成長の姿を明らかにするとともに、子供たちの学力の伸びを経年の調査結果から把握する。

【内容】国語、算数、生活習慣等についての質問

(2) 全国学力・学習状況調査〔実施日：4月18日 対象学年：第6学年〕

【目的】文部科学省が全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ると共に、学校での教育指導の充実や学習状況の改善策に役立てる。

【内容】国語、算数、生活習慣等についての質問

2 調査結果（それぞれの調査結果を踏まえたもの）

【よい点】○国語では全体的に物語文や会話資料の読み取りで良好な結果が出ています。特に6年生の情報の扱い方、我が国の言語文化の領域で県の平均正答率を大きく上回っています。

○算数では基本的な $+$ ・ $-$ ・ \times ・ \div の計算、数のしくみで良好な結果が出ています。特に5年生の変化と関係の領域で県の平均正答率を大きく上回っています。

○「進んで掃除に取り組む」「先生から認められた」「学級での生活が楽しい」「行事に学級でまともに取り組んだ」と答える児童の割合が県の平均より高くなっています。

【課題】●国語では主語・述語・修飾語などの文法、漢字の部首や語句の言い換えなどの言語事項に関する問題、資料を活用する問題においてさらに身につけていく必要があります。
●算数では既習内容を生かす問題、思考過程の文章による説明について記述で答える問題グラフなどの資料から読み取って答える問題等をさらに身につけていく必要があります。
●ゲーム、動画、SNSの時間が県の平均より長く、読書習慣が少ない傾向にあります。「勉強の際に参考書や事典を活用する」「授業で学んだ内容をさらに詳しく知りたい、学びたいと思う」「時と場に応じた言葉遣いができる」と答える児童の割合が県の平均より低くなっています。

3 取組 ☆国語では、自分の意見や状況の説明を的確に行えるよう、発達段階に応じて、文章で表現することに慣れ、辞典を活用しながら語彙を増やす学習をし、言語環境の充実を図っていきます。また、引き続き新聞を活用した学習に取り組んでいきます。

☆算数では、文章問題の中で「分かること」「聞いている」ことを確かめ文章問題を把握させる国語力を高めること。計算の順序や法則の理解、既習事項の確実な定着を目指して、振り返り学習や反復練習の時間を確保すること。これらを通して学年間のつながりを意識した指導を行っていきます。また、ティーム・ティーチング、習熟度別学習、放課後算数教室により、きめ細やかな指導を今後も継続させ基礎基本の力を高めていきます。

☆ICT機器の授業での活用、AIドリルを使用した個別最適な学びにも積極的に取り組んでいきます。

学力の伸長や定着には、学校と家庭の連携が大切です。ご家庭でもぜひ「家庭学習のすすめ」（本校HP掲載）を参考に、お子さんが進んで学習できるよう励ましをお願いします。また、県のHPにあります「埼玉県学力・学習状況調査 復習シート」を合わせてご活用ください。